

事務事業名		はつらつ介護予防事業(旧一次予防事業)				会計	介護保険				
						事業種別	政策	開始	20	終了	
課等名		介護高齢課		係等名 基幹包括支援センター							
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり							
		施策	35	高齢者福祉の推進							
目的	対象(誰・何を)	・65歳以上の高齢者 ・65歳以上で要支援・要介護認定を受けていない独居者 ・できる限り要介護状態となることなく健康でいきいきした在宅生活が続けられる。 ・独居高齢者等が自立した生活を継続できる。				対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)						65歳以上で要支援・要介護認定を受けていない高齢者(二次予防高齢者を除く)(人)			23124	
	向上させたい上位施策の成果指標	安心していきいき暮らせている高齢者の割合					65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない支援の必要な独居高齢者等			2548	
目標	種別	指標名及び単位				24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	サービス利用者が要支援・要介護にならなかった割合(%)				75	92	85			
	定性目標										
事業概要	①概ね75歳以上の健康な高齢者に対し、転倒予防を中心とした運動教室「はつらつ運動塾」を委託により開催する。 ②認知症予防講座の開催：65歳学習会 ③65歳以上で要支援・要介護認定を受けていない独居高齢者等にたいし、生活習慣の改善を目的とし、ホームヘルプサービスを週1回程度実施する。 ④65歳以上で要支援・要介護認定を受けていない独居高齢者等にたいし、養護老人ホームを利用した生活習慣の改善指導。										
	事業内容						名称			活動指標	
24年度事業内容	①概ね75歳以上で転倒の不安を持つ高齢者に対し、転倒予防を中心とした運動教室を開催。2回/月・6ヶ月の教室を委託により開催する。 ②運動教室以外にも出席者が少ない男性中心の教室を検討していく。 ③地域包括支援センターを窓口として受け付け、同センター並びに介護高齢課で必要性を調査し利用決定する。決定者はヘルパーによる家事援助を週1回程度受ける中で、生活習慣の改善を図っていく。 ④地域包括支援センターを窓口として受け付け、同センター並びに介護高齢課で必要性を調査し利用決定する。決定者は養護老人ホームに1週間程度短期入所する中で、生活習慣、生活環境の改善を図っていく。					①教室数・受講実人数 ②講座開催回数・受講者数 ③サービス提供者数・年間利用回数 ④サービス利用日数			①5 教室144人 ②4回 63人 ③7人・89回 ④196日		
	事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		4,160	7,612	3,185	5,859	介護予防事業 国25% 県12.5% 市12.5% 1号保険料21%、2号保険料29% (そ)地域支援介護予防事業負担金					
国庫支出金		1,019	1,745	796	1,352						
県支出金		512	873	398	677						
起債											
その他		1,302	2,653	924	2,015						
一般財源		1,327	2,341	1,067	1,815						
人件費計(千円)②		1,788		1,788							
正規職員所要時間		500		500							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		5,948	7,612	4,973	5,859						
事業内容・目標達成状況の振り返り		教室自体の数はすくなくかったが、男性の参加を強化するため運動教室や料理教室の拡大を行っている。									
改革改善の考え方	①問題点	教室参加者の募集に男性の参加が少ないことがあげられる									
	②改革提案	男性の教室を運動以外にも拡大していく方向									